

	<h1>学校だより</h1> <p>墨田区立立花吾嬬の森小学校 http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/</p>	平成29年2月 1日
		2月号/第102号 12学級357名 墨田区立花1-18-6 電話：3618-4911・2 校長 横山 公一

## 考える子供・考える人《外山先生の講演より》

先月、中川小学校の研究発表会に全職員で参加してきました。中川小の研究の中心は「算数」、児童一人一人が自分の考えを表現する力を育てるといふものです。これは、立吾が進めている研究（算数で主体的に考える力をはぐくむ）と重なるところがあったため大変興味深く授業参観し、どの学年の児童も堂々と自分の考えを発表している姿に感銘や刺激を受けました。教員が自分のクラスの児童に指導する際の工夫を学ぶよい機会でした。



さて、授業後は外山滋比古先生（著名な言語学者・教育評論家他）の記念講演です。先生は話の前段で某国の大統領選挙に関して触れ、よし悪しは別としても「考える」という点から比較してみた、日本のこれまでの在り方について言及されました。こののち展開される内容は教育論ですから、ひとまずの結論としては教育が国づくり（国柄）にまで影響するものだという風に捉えることができました。

今、社会では人工知能の発達が大きな注目を集めています。まだ一般的には将棋対決や自動運転などの限局的な事柄でしか紹介されていないものの、今後様々な分野での応用が私たちの生活や社会の在り方を大きく変えていくことは間違いありません。日進月歩の急激な発達を続ける人工知能と人間の共存に関して話が及びました。現在の子供たちが成人になる頃、職業のずいぶんな割合が機械やコンピューターによってとって替わられてしまうであろうことは、以前から指摘されてきたことです。「人工知能でなくて、人間でなければどうしてもだめだ」という人間の力が必要です。

「考えることである」と先生は述べました。そして「考え、仲間と言葉を使って会話し、更に考え続ける姿勢が、どんなに技術の発達が成し遂げられた世の中でも生きていける人を創る。」という一つの結論でした。そのためには、子供たちが幼児の段階から（概ね義務教育の年齢まで）の正しい教育の積み重ねが最重要であるという指摘は、改めて身にしみ、深く考えさせられたことです。

学校では算数の時間を中心にして、児童が自分のこととして課題をとらえ「考える」授業に取り組んでいます。そして、児童がたくさん友達とコミュニケーションを図り、自分で自分の言葉を探りながら学び合う機会を増やすようにしています。学校が今後も継続して進む方向でもあります。

## 2月の生活指導「寒さに負けず元気に過ごそう」

大なわチャレンジに向けたクラスの取組をはじめとして、休み時間にはなるべく外に出て体を動かそうという呼びかけをしています。しかし同時にこの時季は、インフルエンザをはじめとした感染症が流行する季節でもあります。

体を鍛えるとともに、空気の入れ替えや手洗いうがいを習慣づけ、病気の予防にも努めます。

## ◎2月の予定 ○数字は校時( ) 学年「朝」朝礼「集」集会「体」体育集会「読」読書タイム

月	火	水	木	金	土	日
		1 読	2 オリパラ体験授業 (4)⑤⑥(全)昼	3	4 土曜授業 大なわチャレンジ① 親子ふれあい(2)② たちあづ班③	いきいき餅つき大会
6 朝 委員会活動⑥	7 交通安全教室(1) 北斎出前授業(5)①~④ 英語活動	8 読 4時間授業	9 集	10 安全指導 すみだいじめ 防止の日 ICT公開授業⑤	11 建国記念日	12
13 朝 給食委員会発表 クラブ《最終》	14 4時間授業 英語活動	15 読 映画鑑賞(6)	16 集 避難訓練	17 新一年生保護者会	18	19
20 朝 保護者会(6)	21 英語活動	22 読 出前授業(5)	23	24	25 土曜授業 6年生を送る会	26
27 朝 委員会《最終》	28 英語活動	3月1日読	2 体	3	4 土曜授業 1/2成人式(4)② たちあづ班③	5

## ◎お知らせ

オリパラ教育	ICT授業(全学級)	6年生を送る会	健康管理
アルティメット元日本代表の森友紀選手による体験授業を行います。アルティメットとは、いわゆるフリスビーを用いた競技です。授業の対象は4年生ですが、これに先駆けて、昼休みの時間、全校集会にて競技の紹介や魅力について講師から語っていただく機会を作ります。	昨年の夏休み明けに全教室にコンピューターや画像投影器具などが配置され、日々の学習指導に活用しています。10日に行われるのは、これらの機器を有効に活用しながら授業を行う公開授業です。区内各校から教員の参観者があります。保護者地域の方もお時間が許せばご参観ください。	卒業式が近づいてきました。6年生にとっての小学校生活は40日余。高学年が下の学年に範を示しリーダーシップをもって引っ張っていくという本校の伝統をしっかり引き継いだ63名です。送る会では、卒業式には参列しない1~4年生を加えた全校で6年生への感謝と未来へのメッセージを送ります。	区内各校から閉鎖の情報が入ってきています。本校でも大きく広がってはいないものの、インフルエンザや、嘔吐・下痢などの発症がある児童がいます。学校では、発熱や体調不良が見られたときは、すぐに保護者へ連絡し受診を勧めています。引き続きマスクの着用へのご協力もよろしくお願い致します。

